

放課後等デイサービスくろーばーたからづか

		チェック項目	はい	どちらとも いえない		改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動スペースはリズム遊びやテーブルゲームが複数同時にできるスペースを確保し、学習スペースは小グループと個人テーブルを分けている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達管理者、児童指導員、障害支援経験者の配置の他、心理士、教員経験者を計画的に配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			床面はマットを敷き、バリアフリートイレにはベットの設備と介助する十分なスペースを用意している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月1回の全体会議を実施し、職員の参画を呼び掛けている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		年1回のアンケートを実施する他、定期面談時に意向の把握、要望等の聞き取りをし、改善につなげている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			3月予定	ホームページのリニューアルに伴い3月に公開予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		連携機関の訪問時に意識的に意見を聞き、業務改善につなげている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修へ積極的に参加できるように事業所が費用を負担している。内部でも専門の講師からの研修を実施している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児発管、担当指導員、心理士参加の支援会議を持ち定期面談の結果を盛り込んだ計画を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		支援計画について職員間で共有し適切な支援を実施している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管を中心に職員で立案している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者、保護者のニーズを取り入れたプログラムを実施している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は短時間で有意義に過ごせるような内容にし、長期休暇には個別の課題や集団での実習等のプログラムを提供している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズを取り入れた内容を盛り込み計画を作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		当日のプログラム内容ごとに担当する内容を決めている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		経過記録、日報に記録し情報共有を図っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			経過記録、業務日報の記録を正確に記入するようにしている

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリング期間を設定するほか、3か月に一度の支援内容の見直しを実施している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○	個別支援計画に反映するように実施している
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児発管及び担当者が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○	適宜対応を取るが、学校により保護者からの情報提供に限定されることがある
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			該当する子どもがいない為実施していない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			4月より該当者がある為今後取り組む
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		3月卒業の該当者があり、卒業式前後に実施
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	定期的な連携になっていない為、今後実施していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		年数回地域イベントや事業所の公開イベントで交流の機会を設けてる
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	地域の連絡会へ積極的に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時の報告に加え、年3回の定期面談や心理士からの助言時等、個別面談を持っている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		心理士や音楽療法士等の専門職からの情報提供を実施している
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に重要事項説明書で実施
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		心理士によるカウンセリングや相談員の対応の時間を希望により設定している
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		年1回、全利用者家庭に交流できるイベントを実施し保護者間の連携の機会を提供している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		窓口を設置し、重要事項説明に記載しているほか、電話や連絡帳で対応し内容の共有に留意している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、通信を作成し配布している
	35	個人情報に十分注意しているか	○		書類は鍵付きロッカーで保管し、USBでの管理としWEB環境への流出等にも注意している

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡帳、電話等でのお知らせや面談等で直接伝達できるように配慮している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			年1回以上の事業所公開イベント等で工夫している
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを策定し、職員への周知徹底に努めている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防署との防災訓練を年2回実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止研修を実施している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に保護者へ必ず説明し、必要な場合は保護者へ許可を得るようにしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示が必要な子どもはいないが、配慮が必要な場合は保護者からの指示には対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			回覧、会議での共有を実施している